

- 一 a 自負 b 謝罪 c 写真 d 金管
- 二 異常な揺れに動揺し、必死に冷静なことを考えても消えない恐怖をなんとか言いきかせてしずめたいから。
- 三 遠近感もわからないほど巨大な津波が多くの家を飲み込んでいくテレビ映像に衝撃を受け現実を疑う気持ち。
- 四 イ
- 五 ウ
- 六 被災地に向けての前向きなメッセージが伊智花から聞けると期待していたのに、消極的な感想を聞き、そのまま記事にできないと思っっているから。
- 七 細部や構図から感じる力強さなど、絵を描く際に技術的に工夫した点。
- 八 1 絵自体を評価してもらえず、被災地へのメッセージのみが強調されることへの不満から、描かなければよかったという後悔で憂うつになるから
2 ニセアカシアの絵をめぐる世間への怒りを含む負の感情を忘れるという意味。
- 九 描きたいという強い気持ちに動かされて描き始め、その過程で震災をきっかけに抱いたやり場のない悲しみや怒りと向き合い、自分の進むべき道を模索しようとした点。
- 十 迫力のある水が押し押し寄せるリアルな絵であり、タイトルも「怒濤」であるため、震災で大きな被害をもたらした津波を連想させるものを避けようとする世間の風潮に合わないから。
- 十一 ア
- 十二
- 1 震災後に新学期が始まった時点では、高校時代の集大成として賞をとる意気込みで集中し、シヨックと混乱を乗り越えて力強く生きる象徴として向き合っていたが、ニセアカシアの絵を描いた後は、その絵が絵自体として評価されず、メッセージばかりが注目されることへの怒りをぶつけ消し去ろうとして向き合うようになった。
- 2 被災者を元気づけるもののみ評価される風潮の中で納得いく評価をされなかったことへの悔しさや反発心は誰にもわかってもらえないという孤独感とともに、その良さを含めてありのままにわかって大切にできるのは自分だけだとかみしめていること。